

昔妖精今は妖怪ならぬ今も妖精涼風真世

コロナが大きな脅威になって劇場が自粛する事に！我々の世界では考えられない事が起きました。約4ヶ月経ち本格的な公演が帝国劇場で8月に開催されました。「帝劇ミュージカルコンサート」です。ご存知の方もいらっしゃると思いますが、その中でも抜群の存在感を示したのが涼風真世さんでした。『回転木馬』の「もしもあなたを愛したら」と『She loves me』の「バニラアイスクリーム」と繋がるメドレーでは、美しい愛の歌を切々と歌い上げた後に一転して、キュートな歌声から高音を駆使したカデンツァに至る難曲をいとも簡単に歌ってのけたのです。さらに「42nd street」では妖艶なブロードウェイの歌手に早変わりです。涼風さんの幅広い歌唱を堪能させていただきました。思えば彼女との付き合いは長きに渡ります。1987年でしょうか、まだ初々しい涼風さんの宝塚でのショー『ジェームス・ディーン』の一場面からですから。颯爽としていてどこか哀愁のある名場面でした。そしてあの『PUCK』、彼女らしさを遺憾なく

発揮した名作です。その後退団されてからは『エリザベート』の2代目、この役は歴代誰も苦労する役です。その舞台稽古での彼女の言葉が忘れられない。「この役はスポーツをしているみたい(笑)」にこやかに言ったものでした。そして「丈夫な喉を下さった両親に感謝です」とも。その後“MA”『マリー・アントワネット』の初演のマリー・アントワネット役、『レベッカ』では亡きレベッカに異常なまでに思いを尽くすダンパース役で「レベッカ」を熱唱し、聴く者を陶醉させたのです。この素晴らしい歌唱力を持った涼風さんと来年は帝劇公演『モーツァルト！』で再会することを楽しみにしています。今回春秋座にてドリームコンサートを開催されるとの事、また新しい涼風真世の魅力を感じさせる舞台となる事でしょう。



甲斐正人

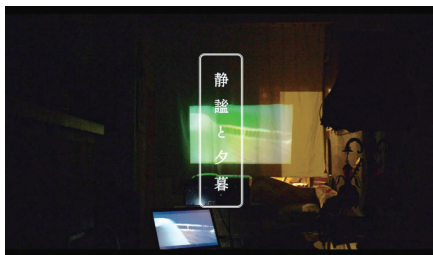
作曲家

東京芸術大学作曲科卒業。舞台音楽、ミュージカル音楽を手掛ける他、オリジナルミュージカルの製作など幅広く活動する。1984年度日本アカデミー賞最優秀音楽賞（映画「浦田行進曲」）、2000年度読売演劇大賞最優秀スタッフ賞（『出島』、『エリザベート』）受賞。2017年度 菊田一夫演劇賞特別賞を受賞。

CLIP

元・学生スタッフ梅村和史さんが「サンパウロ国際映画祭」でノミネートされました！

京都芸術劇場では学生がお客様を案内するフロントスタッフや裏方の手伝いをするステージスタッフとして働いています。2019年度映画学科の卒業生でステージスタッフをつとめていました梅村和史さんの卒業制作作品『静謐と夕暮』が「第44回サンパウロ国際映画祭」の「新人監督コンペティション」にノミネートされました。おめでとうございます！



INFORMATION

感染対策へのご協力を
お願いいたします。



手洗い・消毒、マスク着用など

当劇場の
感染症対策

